ニュース

第180回水質試験方法等調査専門委員会（８月７日）

はじめに、正副委員長及び各部会長の互選を行い、委員長に五十嵐委員（国立医薬品食品衛生研究所生活衛生化学部長）、副委員長に小林委員（国立医薬品食品衛生研究所生活衛生化学部第三室長）が選出された。

また、無機物部会長に林委員（横須賀市上下水道局技術部浄水課主査）、有機物部会長に小林副委員長、微生物・生物部会長に清水委員（神戸市水道局事業部水質試験所担当係長）が選出された。

続いて、各部会の懸案事項及び上水試験方法の改訂について検討を行った。

第24回 ISO/TC224上水道国内対策委員会（８月11日）

TC224専門委員会の活動状況について、傘下の各ワーキンググループの活動のほか、他の専門委員会の動向として再生水利用に関する専門委員会 TC282の報告がなされた。

第743回抄録委員会（８月17日）

本誌10月号・11月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。

第987回会誌編集委員会（８月26日）

本誌９月号・10月号の編集方針、投稿原稿の査読、新規原稿の取扱い等について審議を行った。

水道基礎講座（東京会場第１回：８月26日～28日、
東京会場第２回・大阪会場第１回：９月２日～４日）

水道業務に従事する新規採用職員（事務系・技術系）の方々110名（東京会場第１回40名、東京会場第２回40名、大阪会場第１回30名）の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道システム概論」について研修を実施した。

第256回衛生常設調査委員会（８月27日）

本年度は委員任期初年度になるため、委員の自己紹介後、杉本委員長（名古屋市上下水道局）、高橋副委員長（東京都水道局）及び宮田副委員長（大阪市水道局）を選出した。

次に、最近の水道水質管理の動向について、厚生労働省林水道水質管理官から、今年度４月１日付で改正された六価クロム化合物の水道水質基準、水質管理目標設定項目及び農薬類の内容、検査方法の見直し、クリプトスポリジウム等対策指針と施設基準の見直し等について説明があった。

続いて、各専門委員会の状況報告として、水質試験方法等調査専門委員会では、上水試験方法（2011年版）改訂版の発刊を今年度末とし作業を進めていることを報告し、最終原稿がほぼ完成したことから衛生常設調査委員会委員に査読を依頼した。

水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会では、JWWA 規格「水道用粉末活性炭」における２-MIB 価の規格化に向けた測定方法の検討状況について質疑応答を行った。

その他、コロナ禍での水質対応について各委員から報告及び意見交換を行った。

第84回中小規模水道問題協議会（８月28日）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮して、７月28日に開催を予定していた標記協議会については、参集しての開催を中止し、メンバー都市から提案された情報交換事項①スマートメーターについて、②修繕費用について、③開削工事の再掘削に係る工事費の計上について、④新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する支援策としての水道料金等の免除等の実施内容及び減収に係る財源補填策について、情報交換事項回答集を作成し、メンバー都市に配布した。

第195回工務常設調査委員会（８月31日）

冒頭で正副委員長の選出を行い、委員長に横浜市水道局の遠藤理事、副委員長に東京都水道局の尾根田浄水部長、大阪市水道局の田中工務部長が選出された。

また、「JWWA 規格の改正等」について審議し、了承された。

このほか、「地震等緊急時対応の手引き【令和２年４月改訂】の公表について」、「配水管工講習会に関わる運営委員会について」、「水道用鉄蓋類維持管理マニュアル改訂専門委員会について」、「業務評価マニュアル案改訂専門委員会について」、「ISO/TC224等上下水道関連国際標準化の動向について」、「水質の最新情報について」報告を行ったほか、令和２年７月豪雨における日本水道協会の対応についても報告した。

配管設計講習会（中部会場：９月２日～４日）

水道事業体及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者の方々22名の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX 形）の積算演習」について研修を実施した。